

荏原調節池（目黒川）

施設概要

荏原調節池は、目黒川中・下流部の治水安全度の早期向上を目的として、中央卸売市場荏原市場跡地を活用して、平成 3 年から平成 14 年にかけて整備した、地下箱式の調節池です。

当施設の貯留部は地下 4 層構造で、上層が満杯になると下層へ流入する仕組みとなっています。工事においては、地下に築造する構造物を上から順次施工する工法で行っており、そのため、工事期間中でも出来上がった上層から順次貯水できるとともに、完成後においても排水電力の負担を軽減させるなど、建設時から今日まで浸水被害軽減に効果を発揮してきました。

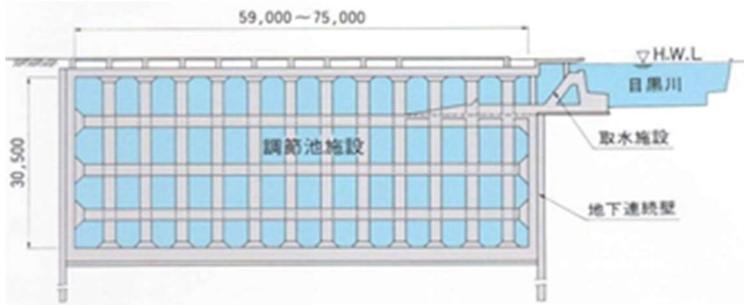
調節池の上部については、大規模未利用地（荏原市場跡地）の有効利用の観点から、都営住宅、品川区の福祉施設などが建築されています。



調節池イメージ図



調節池内部



標準断面図



市場橋下流取水施設

施設諸元

位置	品川区西五反田三丁目
完成年度	平成 14 年度
施設形式	地下箱式
敷地面積(m ²)	10,000m ²
貯留量(m ³)	200,000m ³
越流堤延長(m)	85m
調節池の上部利用	都営住宅、福祉施設（品川区）など

位置図



調節池位置の QR コード

